

ニュース

2023年6月1日号



ハイマツの皆さん、こんにちは。桜ヶ丘ハイマツまちづくり協議会からのお知らせです。
<お休み処から>

5月8日から新型コロナウイルス感染症が、インフルエンザと同等な位置付けとなり、ようやく新たな日常が始まりました。直ぐに平穏な生活に戻れるとは思えませんが、安心してマスクのいらぬ毎日になるといいですね。あと2週間もすると又うっとうしい梅雨の季節となります。蒸し暑さとジメジメとした湿気にはうんざりしますね。想定外の大雨に襲われて大きな災害にならないことを願っています。

さて「お休み処」では

5月1日(月) 「健康講座2回目」(耳つぼマッサージ) (29名の参加者)

毎日続けると身体の為にとてもいいことが分かりました。身体全体のつぼが耳には全てあるそうです。初めてなので耳が痛くて真っ赤になりましたが、続けていると痛くなくなるそうですよ。

5月15日(月) 「オカリナの演奏」(34名の参加者)

爽やかな音色をたつぷりと聞かせて頂きました。

今後の予定

6月5日(月) 「健康講座」(3回目) (前月号でお知らせ済み)

5月号ニュースのちらしの印刷が不明瞭で申し訳ございませんでした。

今回は、スポーツジムのトレーナーさんが講師です。2回連続となります。

6月19日(月) 「アロハピンキーズ」さんの演奏会(ちらしをご覧ください)

毎回感動を頂く演奏です。今回もお楽しみに!

7月3日(月) 「健康講座」(4回目) (ちらしをご覧ください)

6月に続いての講座です。身体のお悩みの解決につながると思います。

健康講座(第4回目)

5月10日号ニュースの第3回目をお知らせせし印刷が不明瞭で申し訳ございませんでした。

今回も前回と同じ講師による講座です。

今年と共に身体の不調が増えて来られ、
膝、膝、肩、手等、あんなに痛くはない。背中が丸くなる。足への脚にたいして悩みはつきません。

そんな不調をなくし、くいつめていけるように、筋力をつける。身体のバランスを整えていきましょう!

日時 7月3日(月)
13:30~15:00
会場 桜ヶ丘西集会所
入場料 200円

お問い合わせ
桜ヶ丘ハイマツまちづくり協議会
水田(61-0278) 高相(6-1103)

健康講座(第4回目)

5月10日号ニュースの第3回目をお知らせせし印刷が不明瞭で申し訳ございませんでした。

今回も前回と同じ講師による講座です。

今年と共に身体の不調が増えて来られ、
膝、膝、肩、手等、あんなに痛くはない。背中が丸くなる。足への脚にたいして悩みはつきません。

そんな不調をなくし、くいつめていけるように、筋力をつける。身体のバランスを整えていきましょう!

日時 7月3日(月)
13:30~15:00
会場 桜ヶ丘西集会所
入場料 200円

お問い合わせ
桜ヶ丘ハイマツまちづくり協議会
水田 64-2066
水田 64-0514

最近の中日新聞にフレイル予防対策についての記事が良く載っています。

平均寿命と健康寿命を比べると10年の差があるそうです。人生最後の10年は介護を受けて生活するのが一般的とのことです。健康寿命を延ばす手段としてフレイル予防が大切だそうです。

「頭と体を使い続けること」「運動すること」、「栄養をとること」「活動すること」で維持、改善されるそうです。フレイル予防には是非「お休み処」を活用してみてください。皆さまのたくさんのご参加お待ちしております。

お問合せ先 小澤 ☎64-3175 又はお近くのスタッフまで

可児市の大型団地が持つ共通の課題とは?

「可児市団地交流懇話会(代表:海道名城大学名誉教授)」は可児市内にある大型団地でまちづくり活動に関わっている有志が参加して、各団地の持つ課題とその解決策について話し合う場として設立されたもので、可児市の助成金などを資源に活動を続け、今年で5年目になります。

これまでいくつかの課題が話題に上りましたが、その解決に向けては行政の協力も必要であることから、今回可児市が役所の組織改編を行ったこともあり、行政との意見交換の場を設けました。

住民側は、桜ヶ丘、若葉台、長坂、愛岐ヶ丘、光陽台から参加があり、可児市側からは、都市計画課、高齢福祉課、地域協働課から部長さんも含め対応していただきました。

限られた時間の中、取り上げた課題は以下のものです。住民サイドで出来ること、行政の支援が必要なこと、各々を明確にしつつ意見交換を行いました。

1. 移動機会の利便性向上に向けて

可児市はさつきバス、Kバス、デマンドタクシーの3つのシステムを公共機関として運営していますが利用率を上げるための対策についてはさらに住民の意見を取り上げることが必要であること、また、住民サイドは共助活動として「移動支援」を行っています。これを考慮した総合的な計画をたてられないものか、という提案をしました。

2. 公園緑地など公共空間のリニューアルについて

団地住民の高齢化に併せ、公園の使い方を再考する必要があるのではないかという提案をしました。具体的には公園に高齢者向けの「健康器具」の設置や樹木による緑地化を進めて公園を「居心地の良い場所」として位置づけてはどうか。「健康器具」の設置は可児市が進める高齢者の健康増進のための施策と合致します。緑化は温暖化防止にもつながります。

3. 空き家の管理について

全国的に「空き家・空き地問題」がクローズアップされています。可児市の団地でも増加が認められています。市も情報化を推進すべきではないかという提案をしました。例えば、地区センターで長時間 Zoom 会議が使える環境を整備してほしい。Zoom 会議はスマホでも参加が可能でタイパを重視する若い世代が会議に参加しやすくなります。

4. 帷子地区の長期的まちづくりについて

帷子地区にはいくつかの団地があり、全体で2万人が生活しています。現在は自治会単位で課題に向かっていますが、帷子地区を一体と見なしたまちづくり計画を策定する必要があるのではないかという提案をしました。住民側としては、地域の自治会や自治連などが集まって話し合う場を設けるのが、きっかけになるのではないかと認識しました。

5. 情報化推進について

自治会への加入率が落ちているという話を聞きます。若い世代のコミュニティ作りに資するため、市も情報化を推進すべきではないかという提案をしました。例えば、地区センターで長時間 Zoom 会議が使える環境を整備してほしい。Zoom 会議はスマホでも参加が可能でタイパを重視する若い世代が会議に参加しやすくなります。

以上、今回は初顔合わせのため十分な意見交換が出来ませんでした。今後はテーマを絞り担当課と意見交換をしていきたいと考えています。可児市の側も対応していただけるそうです。

議論の中でまちづくりを進めるに当たっては、行政組織の縦割りが弊害になることが多々あること、そしてそのことは行政も認識していることがわかりました。今後施策の立案そしてその後の推進に関して住民との意見交換の場を充実させていきたいと考えています。

<桜ヶ丘部会から>

☆ 桜ヶ丘部会では、偶数月に「定例会」を開いています。次回は6月10日(土)18時00分~19時30分、桜ヶ丘地区センター2階会議室で行ないます。参加は自由です。

<ミライ部会から>

☆ ミライ部会では、奇数月に「定例会」を開いています。次回は7月8日(土)18時00分~19時30分、桜ヶ丘地区センター2階会議室で行ないます。参加は自由です。